

甲子園大学における教員養成の目標

本学は、「黽勉(びんべん)努力」「和衷(わちゅう)協同」「至誠一貫」を建学の精神としており、教員(栄養教諭)の養成に関しても、この建学の精神に従い「自らの心に従って、自発的に勉め励む教員」「和やかに他者と心を合わせ、事に当たる教員」「誠をもって人に接し、物事に対処して、一筋に真心を貫き通す教員」の育成を目標に掲げている。以上の目標を達成するために、本学の教職課程では、以下のような取り組みを行っている。

①自らの心に従って、自発的に勉め励む教員

変化が激しい現代の栄養教諭には、栄養に関する専門的で最新の知識を常に更新していく姿勢とともに、旧態依然の旧知識や経験に過度にとらわれることなく、常に自らの実践を省察し、実践の中で学び続けていくことが求められている。本学の教職課程においては、栄養のスペシャリストであるとともに、時代の要請に応えて、新しい情報の獲得と時代の変化に柔軟に対応して持続的に学び続けていくことができる主体的な態度を持った栄養教諭の育成を目指している。

②和やかに他者と心を合わせ、事に当たる教員

栄養教諭には、一つの学級や一つの学年だけにとどまらず、学校全体、さらには一校だけでなく、複数の学校に兼務し指導できる力を求められる場合がある。そのためには、日常的に学級担任をはじめ、他の教職員との連携、さらには保護者や地域住民との連携が不可欠となる。本学においては、グループ活動を多く取り入れ、課題解決のための集団討議、協働での活動(PBL)等を通して、コミュニケーション能力や協調性の豊かな教員の育成を目指している。

③誠をもって人に接し、物事に対処して、一筋に真心を貫き通す教員

信頼される教員になるためには、子どもへ愛情をもって接することはもちろん、すべての人に誠意を持って接することが必要である。そのためにも、本学では、栄養教諭としての使命感と教育への情熱を修得し、子ども、親、地域の人々から信頼される教員の育成を目指している。